

TEC branch

vol. 09

本に書かれているようで書かれていない、日常のふとした疑問におこたえします

Jul.2011

スイスを訪ねて・・・聖ヴェネディクト教会／ピーター・ズントー

今回は、わたしの旅行記をご紹介します。



こんにちは。ご愛
読いただいている『TEC branch』。ちょっと間があいてしまいがめんない。実はわたくし、お休みを頂きスイスへ行ってきました。念願だった、

ピーター・ズントーの聖ヴェネディクト教会を見るためです。

ピーター・ズントー (Peter Zumthor) は、1943年生まれのスイスの建築家です。ハノーバー万博のスイス館やローマ遺跡のためのシェルターなど、木を繊細に使った作品が多く、日本とは違う木の使い方に、私はとても興味を持っていました。

聖ヴェネディクト教会は、スイス東部のカール (chur) から電車で1時間程のスンヴィッツ (sumvitg)



という無人駅で降り、そこからさらに1時間程坂道を登ったところにある、小さな村の教会です。近くに行ってもとても小さく、本当に教会だろうかと思っただけです。外壁は木片のシングル葺きです。1989年の完成から20年以上もたっているせいか南側と北側とは色が異なっていて、時の流れと自然が持つ変わりゆく様を感じました。

アの方舟をモチーフにしたとかで楕円形の平面に、入口部分が凸起しています。中に入ってみると、カーブを描きながら配列されたやや細めの柱たちが目に飛び込んできます。天井を見上げると梁が丁度葉っぱの葉脈状に架けられていて、端部は柱に繋がっています。とても綺麗です。壁は、柱から少し離れて浮くようにボルトで留められていて、木板に銀色の塗装がしてありました。ズントーがよく用いる手法らしいです。開口部は、天井近くにぐるりと回されていて、そこから

柔らかな光が入ってくるので、椅子に座っているととても落ち着きました。

この空間はこの構造によって成立しています。こんなに構造が純粋にそしてシンプルに表現された建物に感激し、私もこんな構造設計がしたいと思いました。

おまけ。これは、フリブール (fribourg) の街でみた工事中の建物です。このオーバーハングには驚きました。スイスは地震が少ないので可能なのかもしれませんが、そのうちどこかの建築雑誌に載るのでは、なんて思いシャッターを切りました。

(手前に立っているのは電柱です。柱ではありませんよ)



TEC branch はHPにて連載中です。

答えてほしい疑問などをお寄せ下さい！

今回は、地盤について

東昭エンジニアリング株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-20-8 BENEX S-3ビル2階

TEL: 045-534-7500 FAX: 045-534-7501

URL: <http://www.tosho-engineering.co.jp>

TEC Architects & Engineers